

図オブジェクトを「自由に配置できる図」として扱う場合、図の位置を定める方法として2つの方法があります。1つは「文章とともに移動」、もう1つは「位置を固定」です。

図をクリックすると「レイアウト オプション」のスマートタグが出現します。これをクリックして選択します。よく使うのは「四角形」と「前面」の2つです。

図と外側の文章の間隔は「詳細設定」→「文字列の折り返し：文字列との間隔」です。

図オブジェクトをクリックするとアンカー（錨マーク）が表示されます。図オブジェクトは必ずどこかの段落に結びつけられます。図の位置を固定した場合、アンカーをつけた段落がページを超えて移動すると、図もページを超えて移動します。



「挿入」→「図：画像」→「オンライン画像」の Bing イメージ検索で「ディスプレイ」を検索して挿入し、縮小。

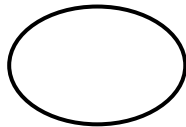
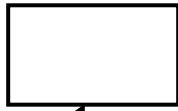
「文字列の折り返し」は「四角」「ページ上の位置を固定」

図を移動させるとアンカーが付く段落は最寄りの段落に自動的に変更されます。アンカーをドラッグすると、結びつける段落を変更することができます。アンカーを段落に固定することもできます。「詳細表示」→「位置：オプション」で設定します。

アンカーが付いた段落を削除すると図も削除されてしまいます。

この長方形 は「挿入」→「図：図形」→「正方形／長方形」で挿入しました。

このページの先頭に改行をいくつか入れ、ディスプレイは不動で、長方形は移動することを確認して下さい。



図形の微調整は拡大率を上げて操作して下さい。カーソル移動キーで位置の微調整ができます。図形の描画・移動・拡大縮小時に shift キーを押すと几帳面な動作（場合によって動作が異なるので統一した表現は難しい）になります。alt キーを押すとカクカクした動きに

なります。

複数の図形をまとめて扱いたいときは「描画キャンバス」の中に描きます。「挿入」→「図：図形」→「新しい描画キャンバス」です。描画キャンバスを作成した後、文字列の折り返しは「四角」にして下さい。

文章を別枠に書きたいときはテキストボックスを使います。テキストボックス内の文章と枠の間隔は大変分かりにくい場所にメニューがあります。



テキストボックスを作成して下さい。
「挿入」→「図：図形」→「基本図形：テキストボックス」です。枠線は黒 1pt
文字サイズは 9pt、行間固定値 14pt です
枠と外側の文字の間隔は、上 4mm、左 10mm です。
枠と内側の文字の間隔は、上下 5mm、左右 7mm です。
その設定は「描画ツール：書式」→「図形のスタイルの右下の△」→「図形のオプション」→「レイアウトとプロパティ」です。
中の文章はそのまま入力して下さい。

正方形を1つ描き、3回コピーして下さい。線の色は黒、太さは1ptです。上下位置を揃え、等間隔に整列させて下さい。複数の図形を選択するのは shift を押しながらかlickです。整列は「描画ツール：書式」→「配置：オブジェクトの配置」です。整列前に「選択したオブジェクトを揃える」にチェックを入れて下さい。

「挿入」→「図：図形」→「正方形／長方形」
「文字列の折り返し」は「前面」「文字列と一緒に移動する」
「塗りつぶし」は「なし」
「枠線」は「黒、1.5pt」

描画キャンバスの左上に長方形、右下に楕円を描いて下さい。塗りつぶしはなし、枠線の色は黒、太さ 1.5pt です。